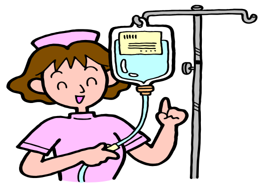
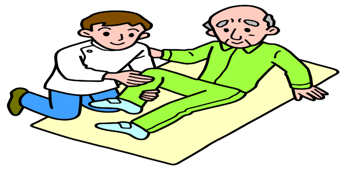
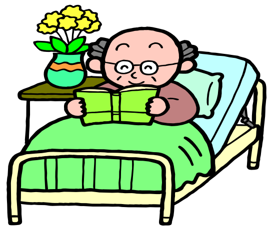
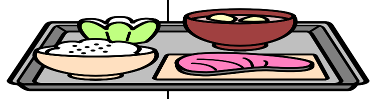
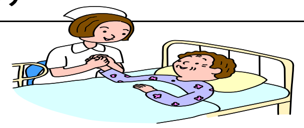
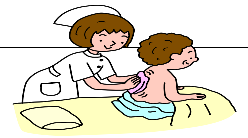
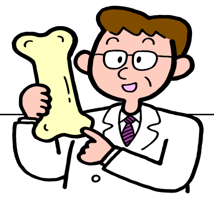
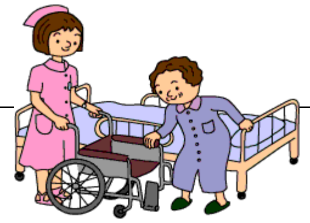
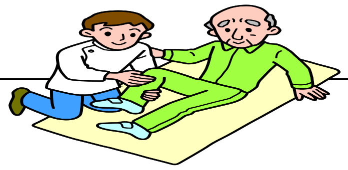
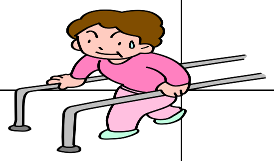
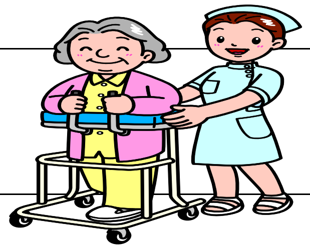
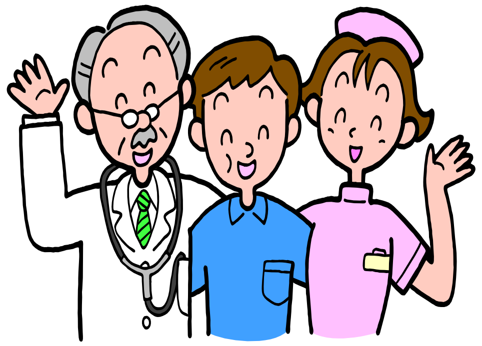
暦日	/　（　）	/　（　）		/　（　）	/　（　）	/　（　）
病日	手術前日	手術当日（行くまで）	手術当日（手術後）	手術後１日目	手術後２日目	手術後3日目
達成目標	手術・麻酔に対する不安が表出できる 手術前の検査が終了し準備が整っている 手術の必要性を理解し同意する	落ち着いて手術を受けることができる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 安静度を守り、ドレナージが効果的にできる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和ができる ドレナージが効果的にできる 食事が５割以上摂取できる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る ドレーンが抜去でき、スムーズに離床できる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来、スムーズに離床が出来る 車椅子移乗ができる
治療 処置 薬剤 リハビリ	髭剃り、爪切りをしてもらいます 弾性ストッキングのサイズを測定します ＜準備するもの＞ 浴衣１着 バスタオル１枚 コルセットの有無⇒無い場合には主治医と相談し作成します 	内服薬がある方は看護師が持ってきますので内服してください 手術開始が９時以外の方は9時頃から点滴を開始します	点滴や酸素マスクをしています こまめに体温や血圧を測ります 創部にはドレーンが入っています 創部に留置しているドレーンが抜けないように、身体の向きを変える時は看護師が一緒にします 抗生剤の点滴が定期的にあります （3 日間）	創部に留置しているドレーンが抜けないように、身体の向きを変える時は看護師が一緒にします ドレーンの量によって抜去する日が決まります リハビリが開始になります （平日のみ）	創部にドレーンが留置している場合は、遅くても本日には外れます ドレーン抜去後はガーゼで保護するかテープを貼ります 	創部にはテープを貼ります 
検査	心電図、心エコー、胸写、採血などが終了しているか確認します			採血があります		採血があります
活動 安静度	普段と変わりありません		ベッド上安静で過ごしてもらいます 頭元を少し上げたり、横を向くことが出来ますが、痛みが強くなったり大切な管が抜けたりするため看護師が一緒に行います	ドレーン抜去後はコルセットを付けて、離床をしましょう 車椅子か歩行器を使用しましょう 慣れるまでは看護師が介助や見守ります	ドレーン抜去後はコルセットを付けて、離床をしましょう 車椅子か歩行器を使用しましょう 慣れるまでは看護師が介助や見守ります	
栄養 （食事）	普段と変わりありません 絶飲食を開始する時間の説明があります 消灯後より絶食となります	絶飲食の時間を守ってください 飲水（　　　　）時まで可	術後は絶飲食です 開始については医師や看護師が伝えます	朝食を半分以上摂取出来れば点滴は終了します	制限はありません 	
清潔	洗髪、シャワー浴をしてもらいます			創部を汚染しないように清拭を行います		創部が防水できれば、コルセットを外して、座位でシャワー浴可能になります
排泄	手術前日は排便がある事を確認します 排便がない場合には、坐薬や浣腸などを行いますので、お知らせください		尿の管が入っており自然に出ているので心配はいりません 排便はベッドの上ですることになります　方法はその際に説明します	尿の管は創部に留置しているドレーンが抜去できた後に外します		

説明 指導	麻酔の先生や手術室の看護師からのお話があります。喫煙は控えてください（喫煙すると手術はできません）		長い間仰向けになりますので、苦痛を伴うと思います、自分で動かずに看護師にお伝えください	痛みが強い時や体の向きを変えたいときには、我慢せずに看護師に伝えてください		

腰部脊柱管狭窄症　脊椎固定術を受ける患者様へ　　氏名（　　　　　　　　）様　　主治医（　　　　　　　　）　受持ち看護師（　　　　　　　　）

暦日	/　（　）～　/　（　）	/　（　）	/　（　）～　/　（　）	/　（　）
病日	手術後4～6日目	手術後7日目	手術後 8 ～13日目	手術後14日目～15 日目
達成目標	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 安定した歩行器歩行ができる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 歩行器歩行ができる （付き添いもしくは自立） 自己にてコルセット装着することが出来る	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 病棟内を歩行訓練できる 退院に向けて不安なことを解決することができる （必要時には試験外泊もできます） 鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 日常生活動作が自分でできる 自己にてコルセット装着することが出来る	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 自己にてコルセット装着することが出来る 自宅退院ができる
治療 処置 薬剤 リハビリ	平日はリハビリの先生が来られます 術後 5 日目に創部のチェックをします 	活動量を増やし、体力や筋力をつけましょう 術後 7 日目に創部のチェックをします	土日祝日は自主訓練をしましょう 術後 10 日目に創治癒が良好な場合、抜鉤します 術後 11 日目に創部のテープを除去します 	活動量を増やし、体力や筋力をつけましょう 土日祝日は自主訓練をしましょう
検査		採血、レントゲンがあります	術後10日目に採血があります 	
活動 安静度	コルセットを装着して歩行器歩行ができる 安定した歩行器歩行が出来るように頑張りましょう			歩行訓練を頑張りましょう
栄養 （食事）	制限はありません			
清潔	創部が防水できればシャワー浴可能になります	移動動作が安定するようになれば、シャワー浴は自立になります		
排泄	普段と変わりありません			
説明 指導	リハビリに従い離床していきましょう 疼痛がある場合には看護師に 伝えてください 	術後7日までに今後の方針を主治医、看護師と話し合いましょう （自宅退院もしくは転院） 転院の場合には転院調整を行います		予定より早く退院になることもあります 主治医に確認したいことなどある際は、退院前日までに、主治医か看護師までお伝え下さい